

令和2年国勢調査の実施について

1 目的

日本国内に居住するすべての人及び世帯の実態を把握し、国及び地方公共団体の各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的とする。なお、今回調査は実施100年の節目となる調査である。

2 調査期日

令和2年10月1日

3 調査事項

19項目（大規模調査） ※下線事項は前回（簡易調査17項目）から追加された項目

(1) 世帯員に関する事項

- ① 氏名 ② 男女の別 ③ 出生の年月 ④ 世帯主との続柄 ⑤ 配偶の関係
- ⑥ 国籍 ⑦ 現在の住居における居住期間 ⑧ 5年前の住居の所在地
- ⑨ 在学、卒業等教育の状況 ⑩ 就業状態
- ⑪ 所属の事業所の名称及び事業の内容 ⑫ 仕事の種類 ⑬ 従業上の地位
- ⑭ 従業地又は通学地 ⑮ 従業地又は通学地までの利用交通手段

(2) 世帯に関する事項

- ⑯ 世帯の種類 ⑰ 世帯員の数 ⑱ 住居の種類 ⑲ 住宅の建て方

4 調査対象及び事業規模（見込）

- (1) 対象 区内に居住するすべての者（約31万世帯 57万人）
- (2) 調査区数 5, 305調査区
- (3) 調査員数 2, 900人
- (4) 指導員数 530人

5 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた主な対応

(1) 調査員事務説明会の開催方法（8月25日（火）～9月9日（水））

これまで1会場につき1日2回（各2時間）開催していたところ、1会場につき1日最大6回（各30分）での開催に変更し、1回あたりの参加者数を当初想定していた数の3分の1程度に抑制して座席の間隔を2m程度確保する。

(2) 調査員による調査書類の配布方法（9月14日（月）～9月23日（水）頃）

従前の方法では対面により調査説明や世帯主氏名等の聞き取りを行うことを原則とし、また、世帯が不在の場合には時間帯や曜日を変えて再訪問し、3回訪問しても不在だった場合には調査書類を郵便受けやドアポストに投函することとされていた。

令和2年国勢調査においては、感染リスクを最小限に抑えるとともに区民や調査員の抱く不安感情にも配慮して、対面あるいはインターホン越しの調査説明などは行わないこととし、1回目の訪問時に調査書類を郵便受け等に投函することとする。

(3) 調査期間中のマスク着用

調査期間中、調査員は必ずマスクを着用のうえ調査活動を行うものとする。

6 調査日程

- | | |
|---------------------|----------------|
| ○8月25日(火)～9月9日(水) | 調査員事務説明会の開催 |
| ○調査員事務説明会後～9月13日(日) | 調査員による担当区域の巡回 |
| ○9月14日(月)～23日(水)頃 | 調査員による調査書類の配布 |
| ○10月1日(木)～3日(土) | 回答確認用のリーフレット配布 |
| ○10月8日(木)～19日(月) | 調査書類の点検・整理など |
| ○10月20日(火)・21日(水) | 調査書類等の提出 |

7 主な調査結果の公表(国)

- | | |
|------------|-------------|
| ○令和3年6月頃 | 人口速報集計(速報値) |
| ○令和3年11月頃 | 人口等基本集計 |
| ○令和4年11月以降 | 抽出詳細集計(最終) |

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査期間や審査期間の延長を選択する自治体も一定数見込まれるため、いずれも当初予定より公表時期が延期されている(「人口速報集計」(速報値)は約4か月、「人口等基本集計」は約2か月程度)。